

令和6年10月 定例教育委員会 会議録

1 日 時 令和6年10月28日(月) 13:30～

2 場 所 鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

3 出席者

教育長 : 河井 登志夫
委員 : 藤井 喜臣
委員 : 前田 哲雄
委員 : 谷口 なおこ
委員 : 中井 英子

〔事務局〕

副教育長：徳高 雄一郎
次長兼教育総務課長：山下 宣之
次長兼学校教育課長：浅見 康陽
生涯学習・スポーツ課長：須崎 ひとみ
文化財課長：佐々木 孝文
学校保健給食課長：山根 ちはる
中央図書館館長：長本 次郎
総合教育センター所長：中村 礼子
学校教育課参事兼指導係長：米澤 武昌
学校教育課参事：平戸 由美
教育総務課長補佐：小清水 晃子

〔傍聴者〕 なし

4 会議次第

行事報告及び行事予定について

〔教育総務課〕

【報告事項】

- (1) やってみよう！でーweek (11/1～11/4) のイベント実施予定について 〔学校教育課〕
- (2) 秋の文化財公開事業について 〔文化財課〕
- (3) 若者応援プロジェクトの実施について 〔生涯学習・スポーツ課〕
- (4) 鳥取マラソン2025の開催について 〔生涯学習・スポーツ課〕
- (5) 第67回鳥取市民体育祭の結果について 〔生涯学習・スポーツ課〕

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

〔11月〕 令和6年11月27日(水) 13:30～鳥取市役所本庁舎6階 第4会議室

〔12月〕 令和6年12月24日(火) 15:30～鳥取市役所本庁舎7階 第2委員会室

5 会議概要

1 3時30分 開会

河井教育長 あいさつ

○行事報告及び行事予定について

教育総務課長（資料に基づき説明する。）

【報告事項】

（1） やってみよう！で一week（11/1～11/4）のイベント実施予定について

学校教育課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

（中井委員）

イベントの募集はどういう風にしていますか。

（学校教育課長）

主に鳥取市各課に何かイベント何かできないか、既存のイベントはないか照会をかけています。市の関係各課と公民館にも照会をかけています。

（中井委員）

前回、西高の生徒が先生になって行う理科の実験があったと思います。今回は入っていないようですが、これは向こうから自発的にやりたいという申し出がなかったということですか。

（学校教育課参事）

今年度は別日で高校生が出かけて出前授業のような形で設定されているようです。

（藤井委員）

どのイベントにどれだけ人が集まったというのは記録を取っていますか。

（学校教育課長）

はい。

（藤井委員）

人が集まるイベント、集まらないイベントあると思います。中井委員が言われたように高校生と触れ合う機会があれば行ってみたいなと子どもも思うのかと。鳥取湖陵高校のおにいさんおねえさんと遊ぼう、警察の仕事体験など行きたいと思えるイベントが増えたらいいなと思います。どうしても、休めないからという声は必ず出て新聞にも載ってしまうと思います。ですが、定着しつつありますよね。せっかくだから高校がもう少し協力してくれるとよいのではないかと思います。

（学校教育課長）

県立学校も11/1(金)は体験的学習活動等休業日で休みです。西高、東高、八頭高の生徒については県教委が募集をかけて、子どもたちとの触れ合い体験ということで放課後児童クラブで保育体験をするというようなことを企画しておられます。多くのクラブに1～2人の生徒が行って保育体験をするようです。

（藤井委員）

高校生のお兄さんお姉さんたちも来るということを学校を通じて子どもたちに流せば、来る子もいるかもしれませんね。

(学校教育課長)

休めない保護者もいらっしゃるので、例えば地域の公民館等で子どもだけでいけるイベントが増えれば子ども参加しやすいと思います。そういう方面でも働きかけや協力をお願いする必要もあるかと思います。

(藤井委員)

年配の人向けが多いですが、公民館も色々なイベントをやってますよね。

(谷口委員)

「やってみよう！でー」が始まるきっかけはどういったものだったのでしょうか。今までこの時期には5日くらいの秋休みがあったと思います。それがなくなって、秋休みの前後のお休みを「やってみよう！でー」にしたということでしょうか。仕事があって休めない、子どもがいるからお昼ご飯を用意しないといけないなど学校に行ってくれていた方がいいという保護者が私の周りには多かったです。なぜ始まったのかよく分かっていないので、始まった経緯を教えてください。

(学校教育課長)

元々体験的学習活動等休業日というのは法に定められた休業日です。必ずしなければならないというものではないのですが、平成29年に定められました。その後コロナ禍に入り、子どもたちが色々な体験ができない期間を長く過ごしたということもあり、子どもたちの体験の場をしっかりと作ってやりたい、それも、まとまった期間、保護者や地域の方と関われるような機会が作れないかということを考えたときに、この体験的学習活動等休業日を活用して体験ができるような制度が有効ではないかと教育委員会内や関係各所とも協議を重ねてた上で制定しました。コロナ禍の体験不足というのが大きなポイントになるかと思います。

(谷口委員)

「やってみよう！でー」の趣旨を通知文やチラシにも毎回入れるようにしたらよいかと思います。突然始まって、突然秋休みではない休みができて、子供にお昼ご飯を用意しなければいけないとか仕事を休まないといけないなど負担に感じている保護者の方もおられます。なので、経緯を毎回何かお知らせなどに載せたら、いつかどこかで引っかかって理解いただけるとと思います。今説明を伺ったら、いい取り組みですごく子どもたちのことを考えてくださっていると感じたので、そういう思いが保護者に伝わったらいいなと思います。

(学校教育課長)

ありがとうございます。イベント情報だけではなく、趣旨をもう少し幅広くお伝えしないといけないのかなと思いました。検討します。

(2) 秋の文化財公開事業について

文化財課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(中井委員)

梶山古墳はどこにありますか。

(文化財課長)

国府町岡益にあります。

(中井委員)

美歎の方ですか。

(文化財課長)

美歎を少し通り過ぎます。

(中井委員)

皆さん車で行かれるのですか。

(文化財課長)

車以外の交通機関ではなかなか行きにくいです。バスもありますが、バス停が遠いです。

(中井委員)

駐車場はどうですか。

(文化財課長)

駐車場はあります。

(中井委員)

100人以上の方が行かれるということで、車がない方もいけるように駅でまとまって何かチャーターしてなど、そういうようなこともできるといいと思います。イベント情報は市報に掲載されますか。

(文化財課長)

市報で案内しています。今年も観光バスが一組ありました。

(中井委員)

車がない方もいける工夫があるといいなと思います。

(文化財課長)

美歎水源地あたりはなかなか公共交通では行きづらいです。以前にバスツアーを実施していたこともありますが、方法は検討したいと思います。

(3) 若者応援プロジェクトの実施について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

(4) 鳥取マラソン2025の開催について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

(5) 第67回鳥取市民体育祭の結果について

生涯学習・スポーツ課長（資料に基づき説明する。）

【質問】

(藤井委員)

種目の固定はしてないと思うのですが、最近あまり変わってないですね。

(生涯学習・スポーツ課長)

最近はあまり変わっていないですが、ソフトボールと野球が別々だったところが参加者が少なくなっているということもあり、AグループがソフトボールをしたときにはB Cグループが軟式野球をして、次の年には入れ替えるようにしております。

(藤井委員)

せっかくねりんピックで太極拳をされていたので、来年オープン種目でやってみてもいいのではと思います。ねりんピックでは何の種目をされたのですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

太極拳の他にサッカー、テニス、ゲートボール、ボーリング、俳句がありました。市民体育祭で太極拳を種目にするのは、各地域からの参加となると競技人口の関係で難しいかもしれません。

(藤井委員)

得点種目は難しいかもしれませんが。連盟がありますよね、そこと相談してみてもいいかもしれません。

(生涯学習・スポーツ課長)

地域体育会連合会があります。

(藤井委員)

相撲は鳥取らしいですね。なかなかないのではないですか。全部の地域からは参加者は集まらないですよ。

(生涯学習・スポーツ課長)

全地域からは集まりませんが、役員の方も出られたりしています。

(藤井委員)

これはオープン種目ですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい、そうです。

(前田委員)

44 小学校区全部が参加したのですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

今年度は東郷小学校区だけが全種目不参加でした。

(前田委員)

1 種目でも参加したら参加扱いですか。

(生涯学習・スポーツ課長)

はい、そうです。

(前田委員)

成績を見るとほとんどが旧市で、新市はなかなか上位に入らないのは人手不足があるのかなと思いました。

(教育長)

ここまでで何かご質問はありませんでしょうか。

(中井委員)

梶山古墳の話に戻りますが、公民館の回覧で回ってくるお知らせと同じように回覧して告知するのはどうでしょうか。公民館でとりまとめをしてもらうのもいいのではないのでしょうか。鳥取に古墳の壁画が残っているということを知らなかったのが、回覧で知って行きたい方もいるのではと思います。

【その他】

(1) 次期定例教育委員会の開催について

[11 月] 令和 6 年 1 1 月 2 7 日 (水) 13 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 6 階 第 4 会議室

[12 月] 令和 6 年 1 2 月 2 4 日 (火) 15 : 30 ~ 鳥取市役所本庁舎 7 階 第 2 委員会室

※同日 総合教育会議 13 : 30 ~ 15 : 00

(2) 気高中法面復旧工事完成について (教育総務課)

(3) 教育委員と事務局との意見交換会について (教育総務課)

【意見】

(藤井委員)

総合教育会議で防災教育の話ができないかと思っています。教育委員会だけではなく市全体の話であると思いますので。内容は事前に用意してお渡しします。うちの職員で防災教育に講師として出ている者もいます。その話や障がい者の避難計画についてなかなかできていないのではないと思うのでこのことについて話がしたいです。障がい者については、個別避難計画を作るようになっていますが、鳥取市の今までの計画では、まずは避難所に行って、そこから福祉避難所に行きます。ですが、とてもそんなことは出来ない、最初から行くところが決まっていればそこに行かしてほしいというのが障害のある人の言い分です。個別で避難計画を作るのは難しいですし、受け皿の問題もありますが、自力でいけない人は誰かがサポートするだけでなく地域の協力も必要です。趣旨は教育委員会所管の防災教育の話ですが、このような話ができたらと思います。

(教育総務課長)

またご相談をさせていただきます。

(教育長)

基本的には障害者手帳を持っておられる方については個別避難計画をとということで、必要な方については福祉関係の施設が避難所として想定されています。藤井委員が言われたように直に福祉避難所ということではなくて避難所に避難してから必要があれば、というのが以前の計画でした。福祉サイドの現在の状況を確認させていただき、ご説明し、話をできたらと思います。

(中井委員)

4つの文化施設の在り方について、市全体で考えていく部分もあると思いますので、教育委員会だけの議論ではなく総合教育会議のような場で話が出来たらいいのかと思います。検討していただければと思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

新しく有識者会議を作っており、2回目の会議が終わったところです。今年度、基本構想を作っていきますので、2回目の会議では施設の利用実態、利用者のニーズ、施設の在り方について国や市の施策、他都市の事例など事務局の報告や基本構想の目次等を示させていただいているところです。12月の総合教育会議のときに、どの程度示すことができるかは分かりませんが、これからワークショップやアンケート調査を含めて次回1月に基本構想の素案を出す予定としています。

(中井委員)

駅前のリ・デザインの議論で文化施設を駅に隣接させるという市民の要望が多いという話はよく出ています。それを考えると市全体として市長の考えも気になります。図書機能のような高校生や大学生が勉強できる場所が駅に隣接しているとJRを利用する際にいいのではないかなとなったときに中央図書館の跡地どうするのかなどを考えると、教育委員会だけで話すよりか総合教育会議とかで話ができの方がいいのかなと思います。

(生涯学習・スポーツ課長)

関係課とも話をして検討します。

(教育長)

事務局として話を詰めていきたいと思います。

(前田委員)

総合教育会議でも教育委員と事務局との意見交換の場でもどちらでもいいのですが、若者関連の話で、各学校でふるさとキャリア教育、コミュニティースクール、地域との協働活動等されてると思います。何例か紹介いただいて、いい方向に向かっているのか、効果が出ているのかどうか知りたいです。どこの学校も力入れておられると思いますので、地域との連携についての例を出してもらえたら、ありがたいと思います。

(教育長)

ありがとうございます。前田委員の意見については、意見交換の場でのテーマの一つとして検討したいと思います。

14時35分 閉会